

IV 研究活動

雑誌名	鹿児島大学農学部農場年報
巻	3
ページ	31-45
発行年	2007
URL	http://hdl.handle.net/10232/21063

IV 研究活動

農場では、教員と技術職員が一体となってフィールド農学に関わる様々な研究および技術開発を推進している。また、農場は、フィールド農学の研究施設として、学部教員あるいは学部学生や大学院生の研究に広く活用され、その成果は分子生物学から農業現場直結型まで広い範囲に亘っている。

1 研究課題

1) 農場の研究課題

- ・合鴨農法を用いた健康食品「黒米」の栽培（共同研究）
- ・観賞用切り花栽培における品質管理（共同研究）
- ・タマゴイモの生育に関する研究
- ・ヤムイモ類の染色体に関する研究（共同研究）
- ・ジャガイモの色素に関する研究（共同研究）
- ・黒毛和牛種の低コスト生産技術の開発
- ・農業副産物の飼料利用に関する研究
- ・暖地型牧草のサイレージ発酵に関する研究

2) 農場施設を利用した学部研究室の研究課題

(1) 学内農場農事部圃場を利用した研究課題

(作物学研究室)

- ・カンショの品質及び生産性に関する研究
- ・カンショの栽培法に関する研究
- ・水稻の温度反応に関する研究

(熱帯作物学研究室)

- ・水稻の品種分化に関する生理生態的解析
- ・キャサバ栽培特性の把握
- ・作物の効率的水利用に関する研究
- ・乾物生産量と蒸発散量の計測に介した窒素固定量に関する研究
- ・水稻の栽培法に関する研究

(植物育種学研究室)

- ・アワの形態調査と品種保存
- ・サツマイモの耐病性に関する遺伝分析および形態調査
- ・水稻の耐病性に関する遺伝分析
- ・水稻の遺伝資源に関する研究

(植物分子生物学研究室)

- ・マメ科作物の根粒形成と植物ホルモンとの関わり
- ・葉菜類、根菜類他作物の生育に対する植物ホルモンの効果

(果樹園芸学研究室)

- ・極早生ウンシュウとポンカンの根域制限試験
- ・ポンカンとタンカンのゼロエミッション試験
- ・ポンカン、キンカン、実験材料の栽培
- ・ブルーベリーの栽培
- ・研究供試用のコンテナおよびポット植えのポンカン、タンカン等100樹を置くため
- ・マスカディンブドウ（繁殖試験用）の試作

(蔬菜園芸学研究室)

- ・ニンニクおよびネギ類の系統維持と遺伝育種実験
- ・トレビスの生態解明と栽培実験
- ・ミニダイコンの生理障害、黒芯発生の原因解明
- ・桜島ダイコンの育種
- ・ソラマメの系統間比較

(観賞園芸学研究室)

- ・ツバキ属植物の系統発生並びに新花色の育種
- ・ツバキ属植物の花色の遺伝
- ・トルコギキョウ、デルフィニウムの新花色の育種
- ・ツツジ類の生態型と花色の育種
- ・スイートピーの栽培試験
- ・トルコギキョウの栽培試験

(害虫学研究室)

- ・チャノホソガの人工飼料の開発と顆粒病ウイルスの増殖
- ・変温と高温条件がチャノコカクモンハマキ生育に及ぼす影響
- ・寄生植物の違いがヘスモンヨトウの生育に及ぼす影響
- ・昆虫ウイルスによるイラクサギンウハバおよびアワヨトウの防除

(家畜管理学研究室)

- ・合鴨の水田放飼が黒米の生育および収量に及ぼす影響
- ・水田放飼合鴨への未利用資源の給与が産肉性に及ぼす影響
- ・水田を利用した山羊の輪換放牧に関する研究
- ・山羊による水田畦畔植生に関する研究

(応用糖質化学研究室)

- ・系統別サツマイモデンプンの物理的特性に関する研究

(農業環境システム学研究室)

- ・サトウキビ栽培体系の高度化に関する研究

(農地工学)

- ・畑地の浸透能実験

(法文学部)

- ・生ゴミ堆肥を活用した循環システムの構築
- ・サツマイモの栽培

(2) 唐湊果樹園を利用した研究課題

(果樹園芸学研究室)

- ・新規除草剤の適用試験
- ・果樹栽培における炭化物利用に関する試験
- ・果実品質向上剤の検索試験
- ・タンカンとポンカン果実の発育および成熟の比較試験
- ・タンカン果実の発育と成熟に影響する要因の解明試験
- ・パッションフルーツの樹体発育、花芽分化および結実に関する研究
- ・DNA分析によるカンキツの類縁関係の解明
- ・カンキツ果実の機能性成分の解明
- ・カンキツの不和合性に関する研究
- ・アセロラの栽培・育種技術の改良

(3) 入来牧場を利用した研究課題

(家畜管理学研究室)

- ・動物(黒毛和牛, トカラウマ, 豚, ヤギ, 鹿等)の行動に関する研究
- ・未利用資源の有効利用に関する研究

(臨床繁殖学研究室)

- ・繁殖牛の生殖に関する研究

(産業獣医学研究室)

- ・産業動物(牛及び豚)の獣医療に関する研究

(4) 学内農場畜産部を利用した研究課題

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜の繁殖生理と遺伝子改変ミニプタ作成に関する研究

(家畜育種学研究室)

- ・家畜，家禽を用いた遺伝育種学的研究
- ・鹿児島県在来家畜の遺伝資源学的研究

(家畜管理学研究室)

- ・家畜の行動管理に関する研究
- ・未利用資源の飼料化に関する研究

(食品分子機能学研究室)

- ・食品の健康維持機能の分析

(栄養生化学・飼料化学研究室)

- ・甘藷焼酎粕の機能性と飼料化に関する研究
- ・ストレス性高脂血症モデル動物における各種タンパク質源の脂質代謝改善作用
- ・ニワトリのヒートショックに関する生理生化学的研究
- ・骨格筋萎縮特異的遺伝子の発現機構に関する研究

2 研究成果

1) 農場 (2007)

(1) 学会誌

- (Yamamoto, M., T. Tomita), M. Onjo, (K. Ishihata, T. Kubo, S. Tominaga and Y. Yonemoto). 2007. Genetic diversity of white sapote (*Casimiroa edulis* La Llave & Lex.) demonstrated by intersimple sequence repeat analysis. *HortScience* 42(6), 1329-1331.
- (下田代智英・藤元優子・佐々木修)・松元里志. 2007. 西南暖地における普通期作水稲の出液速度と収量構成要素の関係. 鹿児島大学農学部学術報告, 57: 5-12.
- (杉浦俊彦)・黒田治之・(杉浦裕義). (2007) 温暖化がわが国の果樹生育に及ぼす影響の現状. 園学研. 6: 257-263

(2) 口頭発表

- Imura Y., (T. Namihira, S. Mizumachi, T. Yara, Y. Kawamoto and T. Nakada). 2007. Comparison of fermentation quality of tropical grasses ensiled in Okinawa. 21st Pacific Science Congress. Okinawa Japan.
- (西田理恵・東めぐみ)・伊村嘉美・(高山耕二・中西良孝・小田原英孝) (2007) 解繊処理竹材サイレージの発酵品質と栄養価. 日本家畜管理学会・応用動物行動学会合同2007年度春季研究発表会, 43(1): 40-41.
- (高山耕二・樫木涼子・羽田野智子・宮内弘美)・龍野巳代・伊村嘉美・(中西良孝) (007) 山羊放牧による野草地内チカラシバの抑圧に関する研究. 日本家畜管理学会・応用動物行動学会合同2007年度春季研究発表会, 43(1): 62-63.
- (西田理恵・東めぐみ)・伊村嘉美・(高山耕二・中西良孝・小田原英孝) (2007) 解繊処理竹材サイレージが山羊の乳生産に及ぼす影響. 西日本畜産学会2007年度(第58回)大会, 38.
- (南さやか・藪田伸)・松本里志・福留弘康・田浦一成・(川満芳信・箱山晋) (2007) 鹿児島におけるキャッサバ栽培の可能性. 日本気象学会九州支部会, 4.

2) 農場を利用した研究成果 (2007)

(1) 論文

- Yoshimitsu, H., M. Nishida, F. Hashimoto, M. Tanaka, Y. Sakata, M. Okawa and T. Nohara. 2007. Chromone and Flavonol Glycosides from *Delphinium hybridum* cv. 'Belladonna Casablanca'. *J. Nat. Med.*, 61, 334-338.
- Li, J.B., F. Hashimoto, K. Shimizu and Y. Sakata. 2007. Anthocyanins from Red Flowers of *Camellia reticulata* Lindl., *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, 71 (11), 2833-2836.
- 平田久子・坂巻祥孝・津田勝男. 2007. トマトサビダニ寄生数の簡易調査法. 九州病害虫研究会報, 53: 82-85.
- Yamamoto, M., A. Asadi Abkener, R. Matsumoto, H. Nesumi, T. Yoshida, T. Kuniga, T. Kubo and S. Tominaga. 2007. CMA banding patterns of chromosomes in major Citrus species. *J. Japan. Soc. Hort. Sci.*, 76(1), 36-40.
- Ichitani, K., K. Namigoshi, M. Sato, S. Taura, M. Aoki, Y. Matsumoto, T. Saitou, W. Marubashi, and T. Kuboyama. 2007. Fine mapping and allelic dosage effect of *Hwcl*, a complementary hybrid weakness gene in rice. *Theoretical and Applied Genetics*, 114: 1407-1415.
- Saito, T., K. Ichitani, T. Suzuki, W. Marubashi and T. Kuboyama. 2007. Developmental observation and high temperature rescue from hybrid weakness in a cross between Japanese rice cultivars and Peruvian rice cultivar 'Jamaica'. *Breeding Science*, 57: 281-288.

- 高山耕二・魏 紅江・萬田正治・中西良孝. 2007. 家鴨雛3種（インディアンランナー種，中国系在来種およびマガモ系合鴨）の水浴能力. 鹿児島大学農学部学術報告, 57: 1-4.
- 魏 紅江・高山耕二・萬田正治・中西良孝. 2007. 合鴨雛に対する水浴馴致が水への順応性に及ぼす影響. 日本家禽学会誌, 44: J101-J107.

(2) 口頭発表

- 神谷 桜・津田勝男・坂巻祥孝 (2007) チャノホソガ顆粒病ウイルスの性状. 九州病害虫研究会第73回研究発表会
- 具志川徹・坂巻祥孝・津田勝男 (2007) ハスモンヨトウの寄主植物別発育温度反応. 九州病害虫研究会第73回研究発表会
- 竹内 優・津田勝男・坂巻祥孝 (2007) アワヨトウ核多角体病ウイルスのトウモロコシ圃場における感染. 九州病害虫研究会第73回研究発表会
- 満元達也・坂巻祥孝・津田勝男 (2007) 鹿児島県においてアゲハチョウ類およびセスジスズメ類に寄生する *Trichogramma* spp. 九州病害虫研究会第73回研究発表会
- 南田いずみ・津田勝男・坂巻祥孝 (2007) ハスモンヨトウ核多角体病ウイルスの大量増殖法の検討. 九州病害虫研究会第73回研究発表会
- 平田久子・坂巻祥孝・津田勝男 (2007) 低密度下においてトマトサビダニが好む寄生部位の特定とセロハンテープを用いた簡易計数法の検討. 九州病害虫研究会第73回研究発表会
- 山本雅史・古賀孝徳・松本亮司・国賀 武・久保達也・富永茂人 (2007) マンダリン類 (*Citrus* spp.) における葉緑体 DNA の多様性. 園芸学会九州支部大会. 1.
- 楊 学虎・平井孝宜・富永茂人・久保達也・山本雅史 (2007) タンカンの果実品質の樹内変動. 園芸学会平成19年度春季大会, 園学研. 6(別1): 312.
- 石本知香・久保達也・富永茂人・山本雅史 (2007) パッションフルーツ ‘ルビースター’ (*Passiflora edulis* × *P. edulis* f. *flavicarpa*) 果実の発育に伴う糖・有機酸組成および関連酵素活性の変化. 熱帯農業学会, 熱帯農業. 51(別1): 43-44.
- 楊 学虎・富永茂人・久保達也・山本雅史 (2007) タンカンにおける結果枝着葉数別の果実品質, 糖度と葉の光合成速度およびスクロースリン酸合成酵素 (SPS) 活性の時期別変化. 園芸学会平成19年度秋季大会, 園学研. 6(別2): 127.
- 末吉武志・岩崎浩一・白澤繁清 (2007) 1 芽苗を利用したサトウキビ栽培体系の確立に関する研究. 農業機械学会
- 一谷勝之・坂本 節・波越啓太・佐藤宗治・田浦 悟・金森裕之・呉 健忠・松本 隆・久保山 勉 (2007) イネ雑種弱勢原因遺伝子 Hwc2 の高密度連鎖解析および品種分化と周辺領域の DNA 多型との関係. 日本育種学会第111回講演会
- 塚原理紗・黒田充宏・宮尾安藝雄・廣近洋彦・沖山友哉・一谷勝之・久保山 勉 (2007) Tos17 挿入変異を用いたイネ雑種弱勢原因遺伝子 Hwc2 領域の解析. 日本育種学会第111回講演会
- 田浦 悟・遠藤 昇・一谷勝之・河邊弘太郎・小川紹文 (2007) イネ白葉枯病抵抗性品種群雲南由来イネ品種における葉緑体 DNA 変異. 日本育種学会第111回講演会
- 田浦 悟・河邊弘太郎・一谷勝之 (2007) イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 xa8 の座乗染色体. 日本育種学会第112回講演会
- 一谷勝之・田浦 悟・佐藤宗治 (2007) イネ品種 Jamaica と IR36 との間の交雑 F2 に見られた雑種弱勢現象の遺伝子分析. 日本育種学会第112回講演会
- 鈴木 主・一谷勝之・金森裕之・松本 隆・渡部信義・久保山 勉 (2007) 雑種弱勢原因遺伝子 Hwc1 候補 ORF の発現と雑種弱勢における根端分裂活性の *in situ* hybridization を用いた解析. 日本育種学会第112回講演会
- 藪田 伸・箱山 晋・南さやか (2007) イネの幼穂分化におよぼす日長の影響. 日本気象学会九州支部会, 5.

(3) 報告書

- 中西良孝・東 めぐみ・西田理恵・高山耕二・伊村嘉美 (2007) 解繊処理竹材の飼料利用に関する研究. 鹿児島科学研究所研究報告, 17: 15-28.

(4) 修士論文

- 石本知香: パッションフルーツ果実の発育, 成熟および貯蔵に関する生理学的研究
- 楊 学虎: タンカンの着花・結実と果実発育および成熟に関する研究

東 めぐみ：解繊処理竹材の飼料利用に関する研究
 林 琢二：数種のマメ科作物の蒸散係数に関する研究
 瀬下義之：水稲の乾物生産および子実生産に及ぼす光反射型マルチの効果に関する研究
 濱田美智雄：出液速度の測定による水稲根の活力評価に関する研究

(5) 卒業論文

神谷 桜：チャノホソガ顆粒病ウイルスの性状
 具志川徹：ハスモンヨトウの寄主植物別発育温度反応
 竹内 優：アワヨトウ核多角体病ウイルスのトウモロコシ圃場における感染
 満元達也：鹿児島県産の *Trichogramma* 属雄成虫における分類学的研究
 南田いずみ：ハスモンヨトウ核多角体病ウイルスの大量増殖法の検討
 平田久子：トマトサビダニの早期発見法の簡略化と累代飼育法の再検討
 古賀孝徳：DNA 分析によるカンキツ類の分化の解明及び高機能性カンキツの探索
 福島範彦：炭化物の施用がポンカンとタンカンの果実品質に及ぼす影響
 保坂裕人：気候温暖化がカンキツの生理落果に及ぼす影響
 松村千鶴子：パッションフルーツの開花，結実と光合成速度に関する研究
 中越進太郎：水稲登熟期の高温が乾物生産特性と出液速度に与える影響
 徳田浩平：水稲登熟期の高温が出液速度と根系の形態に与える影響
 谷本 渚：水稲登熟期の気温および水温が玄米品質に与える影響
 松尾枝実：畦幅の地祇がカンショの収量および塊根形状に及ぼす影響
 山本貴史：サトウキビ栽培体系の高度化 - 1 芽苗初期生長に関する基礎研究 -
 飯田 元：放牧あるいは舎飼が群再編成時における肥育豚の敵対行動と生産性に及ぼす影響
 伊藤明子：甘藷蔓サイレージの調製と利用に関する研究
 高野 圭：麹菌発酵飼料の反芻家畜への利用に関する研究 - 肉用種離乳子牛の発育と健康状態に及ぼす影響
 前田美穂：麹菌発酵飼料の反芻家畜への利用に関する研究 - 反芻家畜の行動ならびにルーメン内容物性状に及ぼす影響 -
 樫木涼子：山羊放牧による野草地内のチカラシバ抑圧に関する研究
 岡元一也：数種マメ科作物の葉の切除処理が乾物生産量-蒸発散量関係に及ぼす影響
 吉井まい：カンショの乾物生産および収量生産に対する窒素とカリ施用の影響
 藪田 伸：イネの幼穂分化に及ぼす日長の影響

3 研究助成

遠城道雄 (分担) 「西アフリカにおけるイモ類の再評価」科学研究費補助金 (基礎研究 (B))
 伊村嘉美 (分担) 「竹林バイオマスの農業・畜産業への有効活用による地域資源循環バランス」科学研究費補助金 (基礎研究 (C))

4 学会等活動

日本熱帯農業学会，日本作物学会，園芸学会，日本農作業学会，日本育種学会，日本草地学会，畜産学会，西日本畜産学会，日本養豚学会

5 遺伝資源の保存

農場は，わが国における温暖地，亜熱帯，熱帯植物及びトカラ馬，野生化牛などの希少動物の遺伝資源保存センターとしての機能を有する。各付帯施設で保有する遺伝資源は下記のとおりである。

1) 唐湊果樹園

唐湊果樹園では，第24表に示すように，落葉果樹11種類36品種・系統，常緑果樹2種類125品種・系統，熱帯・亜熱帯果樹9種類37品種・系統を保存している。

第24表 唐湊果樹園で保存している果樹遺伝資源リスト

樹種名，学名または組み合わせ	品種・系統名
落葉果樹	
ナシ	
<i>Pyrus serotina</i> Rehder	幸水

<i>Pyrus serotina</i> Rehder モモ	新興
<i>Prunus persica</i> Sieb.	あかつき
<i>Prunus persica</i> Sieb. スモモ	日川白鳳
<i>Prunus</i> sp.	メスレー
<i>Prunus</i> sp. ウメ	大石早生
<i>Prunus mume</i> Sieb.	南高
<i>Prunus mume</i> Sieb.	鶯宿
<i>Prunus mume</i> Sieb. ブドウ	竜峡小梅
<i>Vitis</i> sp.	キャンベル アーリー
<i>Vitis</i> sp.	瀬戸ジャイアンツ
<i>Vitis</i> sp.	ゴルビー
<i>Vitis</i> sp.	安芸クイーン
<i>Vitis</i> sp. カキ	ロザリオ ロッソ
<i>Diospyrus kaki</i> L.	平核無
<i>Diospyrus kaki</i> L.	富有
<i>Diospyrus kaki</i> L.	次郎
<i>Diospyrus kaki</i> L.	禅寺丸
<i>Diospyrus kaki</i> L.	太秋
<i>Diospyrus kaki</i> L.	新秋
<i>Diospyrus kaki</i> L.	西村早生
<i>Diospyrus kaki</i> L.	マメガキ
<i>Diospyrus kaki</i> L.	ロウア柿
<i>Diospyrus kaki</i> L. ブルーベリー	常葉柿
<i>Vaccinium</i> sp.	ホームベル
<i>Vaccinium</i> sp.	ウッダード
<i>Vaccinium</i> sp.	ティフブルー
<i>Vaccinium</i> sp.	T100
<i>Vaccinium</i> sp.	クライマックス
<i>Vaccinium</i> sp.	パールリバー
<i>Vaccinium</i> sp.	オースティン
<i>Vaccinium</i> sp.	ブライトウエル
<i>Vaccinium</i> sp.	マグリラ
<i>Vaccinium</i> sp.	ジャジー
<i>Vaccinium</i> sp.	ブラーデン
<i>Vaccinium</i> sp.	ジョージアゲム
<i>Vaccinium</i> sp.	オニール
<i>Vaccinium</i> sp. クリ	シャープブルー
<i>Castanea</i> Miller	筑波
<i>Castanea</i> Miller イチヨウ(ギンナン)	三原系
<i>Ginkgo biloba</i> L.	藤九郎
<i>Ginkgo biloba</i> L.	嶺南
<i>Ginkgo biloba</i> L. ザクロ	久寿
<i>Punica granatum</i> L. クワ	在来系
<i>Morus</i> sp. 常緑果樹	しだれぐわ

ビワ	
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	茂木
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	白茂木
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	長崎早生
カンキツ	
<i>Citrus macroptera</i> Mont.	カブヤオ
<i>C. hystrix</i> DC.	プルット
<i>C. latipes</i> (Swing.) Tan.	カシーバベダ
<i>C. aurantifolia</i> (Christm.) Swing.	メキシカンライム
<i>C. limettoides</i> Tan.	スイートライム
<i>C. bergamia</i> Risso et Poit.	ベルガモット
<i>C. Montana</i> Tan.	ビロロ
<i>C. excelsa</i> Wester	レモンリアル
<i>C. medica</i> L.	ブッシュカン
<i>C. medica</i> L.	マルブッシュカン
<i>C. limon</i> (L.) Burm. f.	アレンユーレカ
<i>C. limetta</i> Risso	スイートレモン
<i>C. balotina</i> Poit. et Turp.	パロチンベルガモット
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	安政柑
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩王柑
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	チャンドラー
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	はやさき
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	紅まどか
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	水晶文旦
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩白柚
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	麻豆紅柚
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	土佐文旦
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	大橘
<i>C. pseudogulgul</i> Hort. ex Shirai	ジャガタラユ
<i>C. paradise</i> Macf.	マーシュ シードレス
<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	ハッサク
<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	農間紅ハッサク
<i>C. medioglobosa</i> Hort. ex Tan.	ナルト
<i>C. natsudaikai</i> Hayata	川野なつだいだい
<i>C. natsudaikai</i> Hayata	紅甘夏
<i>C. ampullaceal</i> Hort. ex Tan.	ヒョウカン
<i>C. yamabuki</i> Hort. ex Y. Tanaka	ヤマブキ
<i>C. sulcata</i> Hort. ex Takahashi	サンボウカン
<i>C. kawachiensis</i> Hort. ex Y. Tanaka	カワチバンカン
<i>C. aurantium</i> L.	カブス
<i>C. aurantium</i> L.	回青橙
<i>C. aurantium</i> L.	斑入りダイダイ
<i>C. myrtifolia</i> Rafin.	キノット
<i>C. rokugatsu</i> Hort. ex Y. Tanaka	ロクガツミカン
<i>C. canaliculata</i> Hort. ex Y. Tanaka	キクダイダイ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ハムリン
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	トロビタ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	オリンダ バレンシア
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	タロッコ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	モロ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ピラリマ
<i>C. tankan</i> Hayata	垂水1号
<i>C. iyo</i> Hort. ex Tanaka	宮内伊予柑
清家ネーブル X クレメンティン	ありあけ
宮川早生 × トロビタオレンジ	清見

交雑親不詳のタンゴール	マーコット
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	ヒュウガナツ
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	オレンジ日向
<i>C. aurea</i> Hort. ex Tan	カワバタミカン
<i>C. ichangensis</i> Swing.	イーチャンジェンシス
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	山根
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	ユズ
<i>C. hanaju</i> Hort. ex Shirai	ハナユ
<i>C. sudachi</i> Hort. ex Shirai	スダチ
<i>C. spaerocarpa</i> Hort. ex Tan.	カボス
<i>C. nobilis</i> Lour.	クネンボ
<i>C. nobilis</i> Lour.	トークニン
<i>C. unshiu</i> Marc.	原木(4代目)
<i>C. unshiu</i> Marc.	青島温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	寿太郎温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	白川温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	十万温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	大津4号
<i>C. unshiu</i> Marc.	興津早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	宮川早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	かごしま早生
<i>C. keraji</i> Hort. ex Tan.	ケラジ
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	喜界ミカン
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	ナツクニン
<i>C. oto</i> Hort. ex Y. Tanaka	オートー
<i>C. reticulata</i> Blanco	吉田ボンカン
<i>C. reticulata</i> Blanco	薩州
<i>C. deliciosa</i> Ten.	地中海マンダリン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ゲンショウカン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ウスカワ
<i>C. tangerina</i> Hort. ex Tan	大紅ミカン
<i>C. clementina</i> Hort. ex Tan.	クレメンティン
<i>C. tachibana</i> (Mak.) Tan.	タチバナ
<i>C. kinokuni</i> Hort. ex Tan.	キノクニ
<i>C. sunki</i> Hort. ex Tan.	スンキ
<i>C. reshni</i> Hort. ex Tan.	クレオパトラ
<i>C. depressa</i> Hayata	シイクワシャー
<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン(甘)
<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン(辛)
<i>C. leiocarpa</i> Hort. ex Tan.	コウジ
<i>C. flaviculpus</i> Hort. ex Tanaka	キミカン
<i>C. sp.</i>	コズ
<i>C. sp.</i>	島みかん(黒島)
キング×地中海マンダリン	アンコール
クレメンティン×ダンシータンゼリン	フォーチュン
小西早生×フェアチャイルド	サガマンダリン
キング×ウンシュウミカン	カーラ
三保早生×クレメンティン	南香
今村温州×中野3号ボンカン	早香
クレメンティン×オーランド	ノバ
ミネオラ×クレメンティン	ページ
清見×中野3号ボンカン	陽香
清見×中野3号ボンカン	不知火
清見×ボンカンF-2432	はるみ
清見×アンコール	あまか

(清見×興津早生) × ページ	天草
(清見×アンコール) × マーコット	せとか
清見×興津早生	津之香
上田温州×ハッサク	スイートスプリング
ダンカングレープフルーツ×ダンシー	ミネオラ
タンゼリン	シキキツ
<i>C. madurensis</i> Lour.	辺塚ダイダイ
<i>C. sp.</i>	小林みかん
<i>C. sp.</i>	
キンカン	
<i>Fortunella hindsii</i> (Champ.) Swing.	キンズ
<i>F. margarita</i> (Lour.) Swing.	ナガキンカン
<i>F. japonica</i> (Thumb.) Swing.	マルキンカン
<i>F. crassifolia</i> Swing.	ニンボウキンカン
<i>F. obovata</i> Tan.	チョウジュキンカン
<i>F. margarita</i> X <i>F. crassifolia</i>	ぶちまる
カラタチ	
<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ルビドー
<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ヒリュウ
カンキツ近縁属	
<i>Microcitrus</i> X <i>C. madurensis</i>	ファウストリメディン
<hr/>	
熱帯・亜熱帯果樹	
マンゴー	
<i>Mangifera indica</i> L.	アーウィン
<i>Mangifera indica</i> L.	ゴールデン リッペンス
<i>Mangifera indica</i> L.	ナム ドク マイ
<i>Mangifera indica</i> L.	メラーイン
パッションフルーツ	
<i>Passiflora edulis</i> Sims	サマークイーン
<i>Passiflora edulis</i> Sims	ルビースター
<i>Passiflora edulis</i> Sims	アマミノジャンボウ
アセロラ	
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	ハワイアン クイーン
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	レッド ジャンボ
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	トロピカル ルビー
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	レーンボルグ
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	マウナウイリ
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	ハワイアン
アボカド	
<i>Persea americana</i> Mill	フエルテ
ゴレンシ	
<i>Averrhoa carambola</i> L.	ナナ スター
<i>Averrhoa carambola</i> L.	ボゴール
<i>Averrhoa carambola</i> L.	マレーシア
<i>Averrhoa carambola</i> L.	二林軟枝
<i>Averrhoa carambola</i> L.	竹葉
<i>Averrhoa carambola</i> L.	バンコク
<i>Averrhoa carambola</i> L.	カギ
シロサボテ	
<i>Casimiroa edulis</i> La Llave	マリブ
	キャンディー
アテモヤ	
	ヒラリーホワイト
	ビッグシスター
	ビッグマンモス

ピタヤ	
<i>Hyocereus L.</i>	黄色系 赤色系
リュウガン	
<i>Euphoria longan Stend</i>	N93-6 カーラ ハエウ シーチョンブー エワイ ビオキウ サキップ タイウエン フンカク

2) 指宿植物試験場

当場では1918年の設置以来、現在に至るまで、熱帯・亜熱帯植物の収集・保存を行い、教育研究に利用するとともに、地域への普及を行っている。これまで、マンゴー、パッションフルーツなどの熱帯果樹類や熱帯産ヤムイモなどが、南九州で特産化されている。

遺伝資源植物として保存している植物数は、品種や系統も含めると約1,500種類である。これらは、鉢や露地植えで保存されており、面積ベースでは、温室の40%、ビニルハウスの32%、圃場の50%である。単純計算であるが、教職員はこれら遺伝資源植物の維持、管理に全体の作業の40%程度の時間を割いていることになる。一方で、遺伝資源植物からの収入は、全体の10%程度である。

遺伝資源植物の保存、評価、利用なども附属農場の重要役割のひとつであるが、教職員数と比較した場合の労力や予算的な面からもほぼ限界の状況である。とくに果樹類などは実生系など品種が明確でないものも多く、それらは、結実が見られないものも多い。地域農業への貢献のためにも、明確な品種と生産性の可能性がある熱帯・亜熱帯果樹類への切り替えを進めている。

第25表 指宿植物試験場で保存している主な植物遺伝資源リスト

科名	和名	学名
アオイ	ハマボウ	<i>Hibiscus hamabo</i> Sieb. et Zucc.
アオイ	フウリンブツソウゲ	<i>Hibiscus schizopetalus</i> (M. T. Mast.)
アオイ	ハイビスカス	<i>Hibiscus</i> spp.
アオイ	ヒメブツソウゲ	<i>Malvaviscus arboreus</i> var. <i>drummondii</i> (Torr. et A. Gray) Schery
アオイ	ウナズキヒメフヨウ	<i>Malvaviscus arboreus</i> var. <i>mexicanus</i> Schlechtend.
アオギリ	ピンボンノキ	<i>Sterculia nobilis</i> Sm.
アカテツ	サボジラ	<i>Achras zapota</i> L.
アカテツ	クダモノタマゴ	<i>Lucuma nervosa</i> A.D.C.
アカテツ	ミラクルベリー	<i>Synsepalum dulcificum</i> Daniell
アカテツ	アビウ	<i>Pouteria caimito</i>
アカネ	サンタンカ	<i>Ixora chinensis</i> Lam.
アカネ	イクソラ・ダフィー	<i>Ixora duffii</i> T.Moore
アヤメ	アメリカシャガ	<i>Neomarica northiana</i>
イネ	レモングラス	<i>Cymbopogon citratus</i> (DC.) Stapf
イネ	スズコナリヒラ	<i>Sinobambusa tootsik</i> Makino f. <i>albostrata</i> Muroi
イイギリ	ラブリーアップル	
イラクサ	ペリオニア	<i>Pellionia</i> spp.
イラクサ	アサバソウ	<i>Pilea cadierei</i> Gagnep. et Guillaum.

IV 研究活動

ウコギ	ホンコンカボック	<i>Schefflera arboricola</i> (Hayata) Hayata ex Kaneh.
ウラボシ	コウモリラン	<i>Platynerium bifurcatum</i> (Cav.) C. Chr.
ウルシ	マンゴー	<i>Mangifera indica</i> L.
オシロイバナ	ブーゲンビレア	<i>Bougainvillea</i> spp.
オトギリソウ	マンゴスチン	<i>Garcinia mangostana</i> L.
ガガイモ	スタペリア	<i>Stapelia</i> spp.
カキノキ	ブラックサボテ	<i>Diospyros ebenaser</i>
カタバミ	スターフルーツ	<i>Averrhoa carambola</i> L.
カヤツリグサ	カミガヤツリ	<i>Cyperus papyrus</i> L.
キツネノマゴ	ルリハナガサ	<i>Eranthemum pulchellum</i> Andr.
キツネノマゴ	シロアミメグサ	<i>Fittonia verschaffeltii</i> (Lem.) van Houtte var. <i>argyroneura</i> (Coem.) Nichols.
キツネノマゴ	アトロプルプレウム	<i>Pseuderanthemum atropurpureum</i> (Bull.) L. H. Bailey
キツネノマゴ	コダチヤハズカズラ	<i>Tunbergia erecta</i> (Benth.) T. Anderson
キツネノマゴ	ベンガルヤハズカズラ	<i>Tunbergia grandiflora</i> (Rosb. ex Rottl.) Rpxb.
キョウチクトウ	アデニウム	<i>Adenium</i> spp.
キョウチクトウ	オオバナアリアケカズラ	<i>Allamanda cathartica</i> L.
キョウチクトウ	ヒメアリアケカズラ	<i>Allamanda neriiifolia</i> Hook.
キョウチクトウ	セイヨウキョウチクトウ	<i>Nerium oleander</i> L.
キョウチクトウ	キバナキョウチクトウ	<i>Thevetia peruviana</i> (Pers.) K. Schum.
キントラノオ	アセロラ	<i>Malpigia glabra</i> L.
クスノキ	アボガド	<i>Persea americana</i> Milll.
クマツヅラ	ハリマツリ	<i>Duranta repens</i> L.
クマツヅラ	チャイニーズハット	<i>Holmskioldia sanguinea</i> Retz.
クマツヅラ	ランタナ	<i>Lantana camara</i> L.
クマツヅラ	コバノランタナ	<i>Lantana montevidensis</i> (K. Spreng.) Briq.
クマツヅラ	ベトレア	<i>Petrea vollubilis</i> L.
クロウメモドキ	インドナツメ	<i>Zizyphus mauritiana</i> Lam.
クロウメモドキ	ナツメ	<i>Zizyphus jujuba</i> var. <i>inermis</i>
クワ	カンテンイタビ	<i>Ficus awkeotsang</i> Makino
クワ	インドゴムノキ	<i>Ficus elastica</i> Roxb. ex Hornem.
クワ	カシワバゴム	<i>Ficus lyrata</i> Warb.
クワ	ガジュマル	<i>Ficus microcarpa</i> L. f.
クワ	オオイタビ	<i>Ficus pumila</i> L.
クワ	アコウ	<i>Ficus superba</i> Miq. var. <i>japonica</i> Miq.
ゴマノハグサ	ハナチョウジ	<i>Russelia equisetiformis</i> Schlechtend et Cham.
サトイモ	ヒトスジグサ	<i>Aglaonema costatum</i> N. E. Br.
サトイモ	アグラオネマ	<i>Aglaonema</i> spp.
サトイモ	クワズイモ	<i>Alocasia odora</i> K.Koch

サトイモ	オオベニウチワ	<i>Anthurium andreaeanum</i> Linden corr. Andre
サトイモ	サトイモ	<i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott
サトイモ	ジャイアントスワンブタロ	<i>Cyrtosperma chamissonis</i> (Schott) Merrill
サトイモ	ホウライショウウ	<i>Monstera deliciosa</i> Liebm.
サトイモ	マドカズラ	<i>Monstera friedrichsthali</i> Schott
サトイモ	スパティフィラム	<i>Spathiphyllum</i> spp.
サボテン	ドラゴンフルーツ	<i>Hylocereus undatus</i>
シソ	クミスクチン	<i>Orthosiphon aristatus</i> (Blume) Miq.
シノブ	タマシダ	<i>Nephrolepis cordifolia</i> (L.) K. Presl
ショウガ	ゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.)B.L.Burtt et R.M.Sm.
ショウガ	キフゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.)B.L.Burtt et R.M.Sm. 'Variegata'
ショウガ	フクジンソウ	<i>Costus speciosus</i> (J.Konig) Sm.
ショウガ	キョウオウ	<i>Curcuma aromatica</i> Salisb.
ショウガ	ウコン	<i>Curcuma longa</i> L.
ショウガ	ガジュツ	<i>Curcuma zedoaria</i> (Christm) Roscoe
スイカズラ	ゴモジュ	<i>Viburnum suspensum</i> Lindl.
ソテツ	ナンヨウソテツ	<i>Cycas circinalis</i> L.
ソテツ	ソテツ	<i>Cycas revoluta</i> Thunb.
ツツジ	ケラマツツジ	<i>Rhododendron scabrum</i> G. Don
ツユクサ	ムラサキオモト	<i>Rhoeo spathacea</i> (Swartz) Stearn
トウダイグサ	クロトン	<i>Codiaeum variegatum</i> (L.) Blume
トウダイグサ	ハナキリン	<i>Euphorbia milii</i> Desmoul. var. <i>splendens</i> (Bojer ex Hook.) Ursch et Leandri
トウダイグサ	アオサンゴ	<i>Euphorbia tirucalli</i> L.
トウダイグサ	ナンヨウザクラ	<i>Jatropha integerrima</i> Jacq.
トウダイグサ	サンゴアブラギリ	<i>Jatropha podagrica</i> Hook.
トウダイグサ	セッカギンリュウ	<i>Pedilanthus tithymalodes</i> (L.)Poit.
トケイソウ	ムラサキクダモノ	<i>Passiflora edulis</i> Sims.
トケイソウ	トケイソウ	<i>Passiflora edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>
ナス	ニオイバンマツリ	<i>Brunfelsia australis</i> Benth.
ナンヨウスギ	シマナンヨウスギ	<i>Araucaria heterophylla</i> (Salisb.)Franco
ノウゼンカズラ	ハリミノウゼン	<i>Clystostoma callistegioides</i> (Cham.) Bur.
ノウゼンカズラ	ジャカラнда	<i>Jacaranda</i> sp.
ノウゼンカズラ	イペ	<i>Tabebuia</i> sp.
パイナップル	パイナップル	<i>Ananas comosus</i> (Linn.)Merr.
パイナップル	チランジア	<i>Tillandsia</i> spp.
パイナップル	サルオガセモドキ	<i>Tillandsia usneoides</i> (L.)L.
バショウ	バナナ	<i>Musa</i> spp.
バショウ	ニコライ	<i>Strelitzia niccolai</i> Regel et Korn.
バショウ	ゴクラクチョウカ	<i>Strelitzia reginae</i> Ait.
バショウ	ユンケア	<i>Strelitzia reginae</i> var. <i>juncea</i> (Ker-Gawl.) H. E. Moore

IV 研究活動

バラ	ヒメシャリンバイ	<i>Raphiolepis umbellata</i> (Thunb.) Makino var. <i>integerrima</i> (Hook. et Rehd)
パンヤ	パキラ	<i>Pachira aquatica</i> Aubl.
パンヤ	トックリキワタ	<i>Chorisia speciosa</i>
バンレイシ	チェリモヤ	<i>Annona cherimola</i> Mill.
バンレイシ	アテモヤ	<i>Annona atemoya hort.</i>
バンレイシ	イランイラン	<i>Cananga odorata</i>
ヒガンバナ	クンシラン	<i>Clivia miniata</i> Regel
ヒガンバナ	ハマオモト	<i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Bak.
ヒユ	アルテルナンテラ	<i>Alternanthera ficoidea</i> (L.)R.Br.ex Roem. Et Schult.
フトモモ	キンボウジュ	<i>Callistemon speciosus</i> (Sims) DC.
フトモモ	ユーカリノキ	<i>Eucalyptus</i> spp.
フトモモ	ピタンガ	<i>Eugenia michelii</i> Lam.
フトモモ	フェイジョア	<i>Feijoa sellowiana</i> O.Berg.
フトモモ	メラレウカ	<i>Melaleuca</i> spp.
フトモモ	ギンバイカ	<i>Myrtus communis</i> L.
フトモモ	テリハバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab.
フトモモ	キミノバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab. Var. <i>lucidum hort.</i>
フトモモ	グァバ	<i>Psidium guajava</i> L.
フトモモ	ミズレンブ	<i>Syzygium aqueum</i> Alston
フトモモ	フトモモ	<i>Syzygium jambos</i> (L.) Alston
フトモモ	ジャボチカバ	<i>Myracia couliflora</i> O.Berg
ベンケイソウ	カゲツ	<i>Crassula portulacea</i> Lam.
ベンケイソウ	カランコエ	<i>Kalanchoe blossfeldiana</i> Poelln.
マメ	ソウシジュ	<i>Acacia confusa</i> Merrill
マメ	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.
マメ	バウヒニア	<i>Bauhinia</i> spp.
マメ	カリアンドラ	<i>Calliandra</i> spp.
マメ	コバノセンナ	<i>Cassia coluteoides</i> Collad.
マメ	ナンバンサイカチ	<i>Cassia fistula</i> L.
マメ	サンゴシトウ	<i>Erythrina</i> × <i>bidwillii</i> Lindl.
マメ	アメリカデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L.
マメ	マルバデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L. 'Maruba-Deiko'
ミカン	シロサポテ	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.
ミソハギ	メキシコハナヤナギ	<i>Cuphea hyssopifolia</i> H. B. K.
ミソハギ	ハナヤナギ	<i>Cuphea micropetala</i> H. B. K.
ムクロジ	リュウガン	<i>Euphoria longan</i> Lam.
ムクロジ	ライチ	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.
モクセイ	シマトネリコ	<i>Fraxinus griffithii</i> C.B. Clarke
モクセイ	ハゴロモジャスミン	<i>Jasminum polyanthum</i> Franch.
モクマオウ	モクマオウ	<i>Casuarina stricta</i> Ait.
ヤシ	アカントフィラ	<i>Aiphanes acanthophylla</i> (Mart.) Burret
ヤシ	ユスラヤシ	<i>Archontophoenix alexandrae</i> (F.J.Muell.) H. Wendl. et Drude

ヤシ	ビンロウジュ	<i>Areca catechu</i> L.
ヤシ	ジョオウヤシ	<i>Arecastrum romanzoffianum</i> (Cham.) Becc.
ヤシ	サトウヤシ	<i>Arenga pinnata</i> (Wurmb) Merrill
ヤシ	クロググ	<i>Arenga tremula</i> (Blanco) Becc. var. <i>engleri</i> (Becc.) Hatus.
ヤシ	ボンネッティ	<i>Butia bonnetii</i> (Becc.) Becc.
ヤシ	ブラジルヤシ	<i>Butia capitata</i> (Mart.) Becc.
ヤシ	クジャクヤシ	<i>Caryota mitis</i> Lour.
ヤシ	チャボトウジュロ	<i>Chamaerops humilis</i> L.
ヤシ	アレカヤシ	<i>Chrysalidocarpus lutescens</i> H. Wendle.
ヤシ	デュシアナ	<i>Coccothrinax dussiana</i> L. H. Bailey
ヤシ	ココヤシ	<i>Cocos nucifera</i> L.
ヤシ	テーブルヤシ	<i>Collinia elegans</i> (Mart.) Liebm. ex Oerst.
ヤシ	シロロウヤシ	<i>Copernicia alba</i> Morong
ヤシ	ヒメショウジョウヤシ	<i>Cyrtostachys lakka</i> Becc.
ヤシ	バガニー	<i>Drymophloeus beguinii</i> (Burret) H. E. Moore
ヤシ	ケンチャヤシ	<i>Howea belmoreana</i> (C.Moore et F.J. Muell.) Becc.
ヤシ	ヒロハケンチャヤシ	<i>Howea forsteriana</i> (C.Moore et F.J. Muell.)Becc.
ヤシ	マルハウチワヤシ	<i>Licuala grandis</i> H. Wendl.
ヤシ	シナビロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.)R.Br.ex Mart.
ヤシ	ビロウヤシ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart. var. <i>subglobosa</i> (Hassk.)
ヤシ	オガサワラビロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.)R. Br. ex Mart var. <i>boninensis</i> Becc.
ヤシ	トックリヤシ	<i>Mascarena lagenicaulis</i> L. H. Bailey
ヤシ	トックリヤシモドキ	<i>Mascarena verschaffeltii</i> (H. Wendl.) L. H. Bailey
ヤシ	ヴェデアナム	<i>Microcoelum weddellianum</i> (H.Wendl.) H. E. Moore
ヤシ	ミツヤヤシ	<i>Neodypsis decaryi</i> Jumelle
ヤシ	キリンヤシ	<i>Phoenicophorium borsigianum</i> (K.Koch) Stuntz
ヤシ	カナリーヤシ	<i>Phoenix canariensis</i> hort. ex Chabaud
ヤシ	ナツメヤシ	<i>Phoenix dactylifera</i> L.
ヤシ	カブダチソテツジュロ	<i>Phoenix reclinata</i> Jacq.
ヤシ	シンノウヤシ	<i>Phoenix roebelenii</i> O'Brien
ヤシ	サトウナツメヤシ	<i>Phoenix sylvestris</i> (L.) Roxb.
ヤシ	ヒメヤハズヤシ	<i>Ptychosperma elegans</i> (R.Br.) Blume
ヤシ	シュロチクヤシ	<i>Ptychosperma macarthurii</i> (H. Wendl.) Nichols.
ヤシ	カンノンチク	<i>Rhapis excelsa</i> (Thunb.) A. Henry
ヤシ	シュロチク	<i>Rhapis humilis</i> Blume
ヤシ	フロリダダイオウヤシ	<i>Roystonea elata</i> (Bartr.) F. Harper
ヤシ	サバルヤシ	<i>Sabal</i> spp.
ヤシ	ヤエヤマヤシ	<i>Satakentia liukuensis</i> (Hatsu.) H. E. Moore
ヤシ	コバナクマデヤシ	<i>Thrinax parviflora</i> Swartz
ヤシ	マニラヤシ	<i>Veitchia merrillii</i> (Becc.) H. E. Moore
ヤシ	ウイニン	<i>Veitchia vini n</i> H. E. Moore
ヤシ	タケウマキリンヤシ	<i>Verschaffeltia splendida</i> H. Wendl.
ヤシ	オキナヤシ	<i>Washingtonia filifera</i> (Linden ex Andre) H. Wendl.
ヤシ	オキナヤシモドキ	<i>Washingtonia robusta</i> H. Wendl.
ヤマノイモ	カシュウイモ	<i>Dioscorea bulbifera</i> L.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea cayenensis</i> Lam.
ヤマノイモ	トゲドコロ	<i>Dioscorea esculenta</i> (Lour) Burk.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea opposita</i> Thunb.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea rotundata</i> Poir.
ヤマノイモ	ダイジョ	<i>Disocorea alata</i> L.
ヤマモガシ	マカダミアナツ	<i>Macadamia integrifolia</i> Maiden et Betche
ユキノシタ	サラサウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Sieb. et Zucc. f.plena (Maxim.) C.K. Schneid.

IV 研究活動

ユリ	キダチアロエ	<i>Aloe arborescens</i> Mill.
ユリ	アロエ	<i>Aloe</i> spp.
ユリ	ハラン	<i>Aspidistra elatior</i> Blume
ユリ	オリズラン	<i>Chlorophytum comosum</i> (Thunb.) Jacques
ユリ	十二の巻	<i>Haworthia fasciata</i> (Willd.) Haw.
ユリ	ソキアリス	<i>Ledebouria socialis</i> (Bak.) Jessop
ラン	ホウサイラン	<i>Cymbidium sinense</i> (Andr.) Willd.
ラン	オンシジューム	<i>Oncidium</i> spp.
ラン	バニラ	<i>Vanilla planifolia</i> G.Jacks.
ラン	トックリラン	<i>Beaucarnea recurvata</i>
リュウゼツラン	リュウゼツラン	<i>Agave</i> spp.
リュウゼツラン	センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth
リュウゼツラン	センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth
リュウゼツラン	ベニフクリンセンネンボク	<i>Doracaena concinna</i> Kunth
リュウゼツラン	シロシマセンネンボク	<i>Doracaena deremensis</i> Engl.
リュウゼツラン	ギンヨウセンネンボク	<i>Doracaena sanderiana</i> hort. Sander ex M.T.Mast.
リュウゼツラン	レフレクサ	<i>Dracaena reflexa</i> Lam.
リュウゼツラン	ハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Hahnii'
リュウゼツラン	トラノオ	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Laurentii'
リュウゼツラン	ゴールドデンハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Golden Hahnii'

1. 指宿植物試験場で保存栽培している主な植物を掲載したが、品種、系統については原則として除外した。

2. 科名、和名、学名については以下の書籍を参考にし、明確な和名が無いものは文献1を主に参考にした。

参考文献

1. 塚本洋太郎総監修：園芸植物大事典 1-6巻 小学館、1990
2. 熱帯植物研究会編：熱帯植物要覧 大日本山林会、1984
3. 土橋 豊：観葉植物1000 八坂書房、1992
4. 農林省熱帯農業研究センター：東南アジアの果樹。農林統計協会 1974

3) 入来牧場

・トカラ馬 (*Equus caballus*)

日本に現存する8種類の在来馬の一つで、1953年9月に鹿児島県の文化財として天然記念物に指定された。現在の生息数は100頭前後で、そのうち約半数が鹿児島大学附属農場で飼育・増殖されている。

・口之島野生化牛 (*Bos Taurus*)

日本に現存する2種類の在来牛の一つで、現在、その生息数は100頭前後で、そのうち約20頭が鹿児島大学附属農場で飼育されている。現在、絶滅の危機に瀕しており、鹿児島大学において保護と増殖のための取り組みを行っている。